

## 豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

### 1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	防火水槽設置事業								
1-2 担当	部	消防本部	課 又は施設	消防総務課	係	庶務係	評価票作成者	庶務担当係長 相木義博	
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			基本施策	消防・救急		コード	1 3 2
					単位施策(中)	消防体制の強化		コード	1 3 2 2
	項	生活安全・安心			単位施策(小)	消防力の充実・強化		コード	1 3 2 2 1
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	防火水槽の未設置地区		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		防火水槽が不足している地域の災害時の体制強化及び安心感を高めて行く。			
1-5 事務事業の内容	災害時の水利確保のために、地下式で耐震性防火水槽(40トン)を不足している地域に設置し、消防力の強化を図って行く。								

### 2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	防火水槽の不足地域への設置を目指した。	防火水槽は、40トンの有効貯水量があるため、設置のための土地確保が必要となるため設置場所が制限される。		不足地域に設置するため、地域の安全・安心感を与えている。	
	平成19年度	〃	〃		〃	
	平成20年度	今年度は、南部出張所建設工事に併せて、効率的な設置を図った。	財政難による予算確保が厳しいため、建設費のコスト削減が求められている。		断水時には、防火水槽が有効な水利のため計画的な設置を望んでいる。	
	平成21年度	防火水槽の不足地域への設置を目指した。	防火水槽は、40トンの有効貯水量があるため、設置のための土地確保が必要となるため設置場所が制限される。		不足地域に設置するため、地域の安全・安心感を与えている。	
	平成22年度	財政状況が悪化している状況下、建設費の低コスト化に対応すべく部材を再検討し、椎池公園駐車場に設置を図った。設置することにより不足地域に、安全・安心感を与えている。				
	平成23年度	財政状況が悪化している状況下、不足地域への2基設置を目指したが、財政難により今年度の設置は延期となった。しかし、市民の安心・安全を求めるニーズに検討すべく設置の推進を図っていく。				
	平成24年度					
	平成25年度					
平成26年度						
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明	
	防火水槽数(基)		204(基)	209(基)	防火水槽を毎年1基設置し、消防力の強化のため不足地区の解消に努めるよう目標値を設定した。	

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単位)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	1(基)	0	1(基)	0	1(基)	0				
	人件費 c(千円)	7,035	0	5,000	0	7,403	0				
	合計コスト d(b+c)(千円)	140	0	0	0	453	0				
	単位コスト d/a(千円)	7,175	0	5,000	0	7,856	0				
		1基当たり 7.175	1基当たり 0	1基当たり 5,000	1基当たり 0	1基当たり 7.856	1基当たり 0	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 人件費は、業務委託をした産業振興課の職員が設計事務及び現場管理に必要な時間を算出(設計事務4H×14日×3,000円・現場管理3H×30日×3,000円)四捨五入

2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標対応実績(基)		206	206	207	207	208	208				
後期目標値に対する達成度(%)		98.6	98.6	99.0	99.0	99.5	99.5				

### 3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		A	A	A	A	A	A				

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する  
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要  
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要  
 D : 事務事業の廃止が相当
- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)  
 公共性(公が実施する意味があるか)  
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)  
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)  
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)  
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	不足地域への設置要請は、強まることから効果的な設置を行う。	厳しい財政状況の中での予算の確保と設置できる場所が制限されるため効率的な強化を図る。	区からの要望等により不足地域に設置することができた。
平成19年度	〃	〃	今年度予算削減のため公設では設置できず、又、2基防火水槽が廃止されたが民間に開発指導要綱の指導により2基設置され前年と同数になった。
平成20年度	実施計画に防火水槽設置事業を挙げ効率的な設置を行う。	厳しい財政状況であるが、引き続き予算化を要求する。	予定通り南部出張所に防火水槽を設置することができた。
平成21年度	〃	〃	実施計画に計上したが、予算措置できず次年度への繰り越し事業となった。
平成22年度	実施計画に沿って予算要求を行っているが、財政状況が悪化しているため予算削減がされている。本年度は、予定通り椎池公園駐車場に防火水槽を設置することができた。		
平成23年度	実施計画に沿って予算要求を行っているが、財政状況が悪化しているため予算削減がされている。本年度は、2基の予定であったが、防火水槽を設置することができなかった。		
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

### 4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	A	継続して事業を進めること。	
平成19年度	A	継続して事業を進めること。	
平成20年度	A	継続して事業を進めること。	
平成21年度	A	継続して事業を進めること。	
平成22年度	A	継続して事業を進めること。	
平成23年度	A	継続して事業を進めること。	
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			